




論文審査結果の要旨

論文提出者	山 本 和 子
論文審査委員	主 査 高 橋 裕 
	副 査 佐 藤 博 信 
	副 査 谷 口 邦 久 
論 文 題 目	The effects of implant surface characteristics on surrounding bone: Comparative study of two types of surface characteristics
<p>(論文審査結果の要旨)</p> <p>歯科用チタンインプラントは、確実なオッセオインテグレーションを獲得するためにインプラントの表面改質に関する研究が長年行われてきた。インプラントは金属製であるため、チタン-骨界面における組織反応の詳細な評価が困難であった。ところが、チタンコーティングしたプラスチック製実験用インプラントを作製することにより、動物実験によりインプラント周囲組織の反応を評価することが可能となった。しかし、粗面の表面性状を有する実験用インプラントを用いてインプラント周囲組織の反応を評価した研究はみられない。そこで、本研究では、まず2種類の表面性状（酸処理面、サンドブラスト及び酸処理面）を有するチタンコーティングされたプラスチック製インプラントを作製した。そして、それをラットに埋入し、インプラント周囲骨をμCT と光学顕微鏡で観察し、インプラント周囲組織の反応を評価した。その結果、サンドブラスト及び酸処理面が酸処理面よりオッセオインテグレーションの獲得に有利であることが明らかとなった。この結論は臨床的にもたいへん意義のあるものである。以上のことから、本論文は学位論文として十分価値あるものであると認めた。</p>	